



# パッチマネージメント スタートガイド

2023年11月17日

Copyright 2018-2023 by Qualys, Inc. All Rights Reserved.

Qualys and the Qualys logo are registered trademarks of Qualys, Inc. All other trademarks are the property of their respective owners.

Qualys, Inc.  
919 E Hillsdale Blvd  
4th Floor  
Foster City, CA 94404  
1 (650) 801 6100



# 目次

このガイドについて .....	5
Qualys について .....	5
Qualys サポート .....	5
Patch Management Overview .....	5
Qualys サブスクリプションとモジュール必須要件 .....	6
システムサポート .....	6
パッチ管理プロセスのワークフロー .....	6
エージェントのインストールと構成 .....	7
パッチの配布 .....	7
Windows パッチのロールバック .....	7
パッチ管理機能 .....	8
Windows、Linux、Mac アセットのパッチを配布 .....	8
Run-Once ジョブまたは定期的なジョブのスケジュール .....	8
Windows、Linux、Mac ジョブのクローン作成と編集 .....	8
パッチの詳細の表示 .....	8
ジョブの詳細の表示 .....	8
Asset View 詳細の表示 .....	9
レポートの生成 .....	9
Windows アセットからのパッチのロールバック .....	9
廃止予定のパッチをジョブから削除します .....	10
カスタムダッシュボードとウィジェットの作成 .....	10
ベンダーが取得した Windows Patch for Windows ジョブを有効にする .....	10
VMDR からのパッチ .....	10
集計されたジョブの進行状況の表示 .....	10
関連情報 .....	10
無料版へのフォールバック .....	11
ユーザーシナリオ .....	12
ユーザー シナリオ: Microsoft のセキュリティ パッチ ジョブの展開 .....	12
ユーザー・シナリオ: RHEL アセットのセキュリティー・パッチのデプロイ .....	15
ユーザー シナリオ: 古いバージョンの Internet Explorer ブラウザーのロールバック .....	18

ユーザー シナリオ: Chrome および Internet Explorer の重要なパッチのインストール ..... 22

## このガイドについて

Qualys Patch Management へようこそ。Qualys Cloud Security Platform を使用してシステムにパッチを適用するための Qualys ソリューションについて理解を深めるお手伝いをします。

## Qualys について

Qualys, Inc.(NASDAQ:QLYS)は、クラウドベースのセキュリティおよびコンプライアンスソリューションのパイオニアであり、リーディングプロバイダーです。Qualys Cloud Platform とその統合アプリは、重要なセキュリティインテリジェンスをオンデマンドで提供し、IT システムと Web アプリケーションの監査、コンプライアンス、保護の全範囲を自動化することで、企業がセキュリティ運用を簡素化し、コンプライアンスのコストを削減するのに役立ちます。

1999 年に設立された Qualys は、アクセンチュア、BT、コグニザント・テクノロジー・ソリューションズ、ドイツテレコム、富士通、HCL、HP Enterprise、IBM、インフォシス、NTT、Optiv、SecureWorks、タタ・コミュニケーションズ、ベライゾン、ウィプロなどの大手マネージド・サービス・プロバイダーやコンサルティング組織と戦略的パートナーシップを結んでいます。また、Cloud Security Alliance(CSA)の創設メンバーでもあります。詳細については、[www.qualys.com](http://www.qualys.com) をご覧ください。

## Qualys サポート

Qualys は、最も徹底したサポートを提供することをお約束します。Qualys は、オンラインドキュメント、電話によるヘルプ、および直接の電子メールサポートを通じて、お客様の質問に可能な限り迅速に回答できるようにします。週 7 日、24 時間体制でサポートします。

[www.qualys.com/support/](http://www.qualys.com/support/) でオンラインサポート情報にアクセスします。

## Patch Management Overview

Qualys Patch Management は、システムの脆弱性を管理し、これらの脆弱性を保護するためのパッチを展開し、資産をアップグレードし続けるための包括的なソリューションを提供します。

Qualys Vulnerability Management, Detection, and Response(VMDR)モジュールを使用すると、重大な脆弱性のパッチを検出、評価、優先順位付け、および特定できます。パッチ管理モジュールは、単一のパッチ管理アプリケーションを使用して Windows、Linux、および Mac アセットのパッチ管理を自動化することで、時間と労力を節約するのに役立ちます。これにより、資産で使用可能なパッチを即座に可視化し、新しいパッチが利用可能になったときに自動的に展開できます。

- **Windows Cloud Agent** は、必要なパッチを外部ソースからダウンロードします。ただし、認証が必要なパッチはエージェントでダウンロードできません。このようなパッチを手動でダウンロードしてアセットにインストールできます。**Qualys Patch Management** は、これらのパッチがインストールされていることを識別します。
- **Linux Cloud Agent** は、YUM リポジトリからパッチにアクセスし、パッチ管理の **Linux** アセットにパッチを配布します。
- 脆弱性管理に現在使用されているのと同じ **Qualys Cloud Mac Agent** を使用して、**Mac OS** パッチと **Mac 3rd** パーティアプリケーションパッチの検出とパッチ適用が可能になりました。**MAC** エージェントのパッチ管理を 1 回のクリックで有効にするだけで、エージェントをもう 1 つインストールするという終わりのない承認プロセスを経る必要はありません。詳細については、この[ブログを参照してください](#)。

MacOS のサポートを受けるには、テクニカルアカウント マネージャー (TAM) に連絡して、互換性のある Mac エージェント バイナリ 4.25 以降 (x64、x86\_64、および arm64 アーキテクチャのバイナリ 4.26 以降) を入手してください。

## Qualys サブスクリプションとモジュール必須要件

アカウントでパッチ管理(PM)モジュールを有効にする必要があります。

### システムサポート

パッチ管理は、Windows、Linux、および Mac システムへのパッチのインストールをサポートしています。

- サポートされている Windows 製品
- サポートされている Linux オペレーティングシステム
- 対応 Mac 製品

詳細については、『[Qualys Patch Management Supported Product Versions](#)』ガイドを参照してください。

## パッチ管理プロセスのワークフロー

パッチ管理を開始するには、次のワークフローを参照してください。



## エージェントのインストールと構成

Cloud Agent for PM のインストール

パッチダウンロードの許可リストへの URL の追加

CA 構成プロファイルでの PM の作成および有効化

パッチ管理のユーザーロールと権限

注: タグを使用してアセットへのアクセス権を付与することは重要な手順です。パッチ管理のユーザーロールと権限の「タグを使用してアセットへのアクセスを許可する方法」セクションを参照してください。

## パッチの配布

Windows および Mac アセットの評価プロファイルの作成

不足している Windows パッチとインストールされている Windows パッチの確認

不足している Linux パッチの確認とインストール

不足している Mac パッチとインストールされている Mac パッチの確認

アセットへのパッチ・ジョブの配布

- Windows アセットのパッチ・ジョブの管理
- Linux アセットのパッチ・ジョブの管理
- Mac アセットのパッチジョブの管理

ジョブ結果の確認

## Windows パッチのロールバック

Windows アセットからのパッチのロールバック

ジョブ結果の確認

# パッチ管理機能

Qualys Patch Management は、次の機能を備えたアセットにパッチを適用するための包括的なソリューションを提供します。

## Windows、Linux、Mac アセットのパッチを配布

Windows、Linux および Mac アセットのパッチジョブを配布できます。パッチジョブを展開するすべてのアセットに Cloud Agent がインストールされていることを確認します。

次のユーザーシナリオを参照してください。

[ユーザーシナリオ: Microsoft のセキュリティパッチジョブの展開](#)

[ユーザーシナリオ: RHEL アセットのセキュリティパッチの展開](#)

[ユーザーシナリオ: Chrome および Internet Explorer の重要なパッチのインストール](#)

## Run-Once ジョブまたは定期的なジョブのスケジュール

Run-Once ジョブと Recurring ジョブをスケジュールできます。Run-Once ジョブは、パッチ適用の既定のジョブの種類です。これらのジョブは、Windows、Linux、Mac のアセットに対してスケジュールできます。

- ジョブを有効にした直後に実行する。
- ジョブを一度だけ実行するか、定期的に実行する。
- 将来、ジョブを一度だけ、または定期的に実行する。

## Windows、Linux、Mac ジョブのクローン作成と編集

パッチジョブを複製すると、既存のジョブをすばやくコピーし、最小限の編集で新しいジョブを作成できます。より短い時間でジョブを作成することで、ミッションクリティカルな資産に迅速にパッチを適用して脆弱性を軽減できるため、攻撃のリスクを軽減できます。

## パッチの詳細の表示

[Windows、Linux および Mac のパッチ詳細](#)(パッチ・タイトル、パッチ・カテゴリ、ベンダー重大度、パッチ・ステータスなど)を表示できます。

## ジョブの詳細の表示

ジョブの詳細は、「ジョブ」タブから表示できます。Windows、Linux、Mac のパッチジョブのリストを確認できます。サブスクリプションで作成されたすべてのジョブを表示できますが、表示または編集できるのは、自分が作成したジョブ、または自分がそれらの共同作成者であるジョブのみです。それぞれのジョブの共著者である場合は、編集権限がある場合にのみジョブを編集で



きます。ジョブのステータスは、[ジョブ] ページで、(有効、無効、応答されたアセット)、名前、所有者、スケジュールなどを確認できます。これらの詳細に加えて、ジョブに追加されたパッチ、アセット、タグの合計数(存在する場合)も確認できます。

## Asset View 詳細の表示

Cloud Agent モジュールからパッチ管理を有効にしたアカウント内のすべてのアセットのアセットの詳細を表示できます。

- 正常にスキャンされたすべての Windows および Mac アセットの不足しているパッチとインストールされているパッチを確認できます
- 正常にスキャンされたすべての Linux アセットについて、不足しているパッチのみが表示されます。
- Windows、Linux、および Mac アセットの不足しているパッチとインストールされているパッチを確認できます。
- QQL を使用して、Windows および Linux デプロイメント・ジョブのパッチ選択を自動化できます。

## レポートの生成

パッチ管理から次のレポートを生成できます。レポートを生成するには、フルまたはトライアルのパッチ管理ライセンスが必要です。

- Windows および Linux アセットのパッチレポート
- ジョブ進捗レポート
- 集計されたジョブの進行状況レポート - Windows
- パッチインサイトレポート

## Windows アセットからのパッチのロールバック

Windows アセットからパッチをロールバックするには、スコープに含まれるアセットの選択したタグを使用します。管理タグを選択すると、対応する子タグが自動的に選択されます。

追加情報:

ユーザー シナリオ: 古いバージョンの Internet Explorer ブラウザーのロールバック

## 廃止予定のパッチをジョブから削除します

場合によっては、すでに公開されているパッチが、特定の修正のパフォーマンスの問題、脆弱性など、さまざまな理由によりベンダーによって非推奨になることがあります。パッチ管理は、非推奨のパッチがすでにジョブに関連付けられている場合でも、このような非推奨のパッチを配布しません。もう1つの側面は、デプロイジョブの一部として資産に適用されるパッチの数に不一致が発生しないようにすることです。これを確実に行うには、[廃止されたパッチをジョブから削除する必要があります](#)。

## カスタムダッシュボードとウィジェットの作成

Windows、Linux、および Mac アセットのカスタムダッシュボードとウィジェットを作成できます。詳細については、「[パッチ管理の開始](#)」トピックの「[カスタマイズ可能な動的ダッシュボード](#)」セクションおよび[パッチ管理ウィジェット](#)を参照してください。

Additional Resources

## ベンダーが取得した Windows Patch for Windows ジョブを有効にする

パッチマネージャ、パッチユーザー、またはパッチセキュリティロールのユーザーは、[ベンダーが取得したパッチを Windows 展開ジョブに対して有効化、追加、および編集できます](#)。

## VMDR からのパッチ

VMDR アプリケーションに表示される VMDR 優先順位付けレポートに基づいて、Windows、Linux、および Mac のアセットについて最初に修正する必要がある脆弱性を特定できます。[VMDR から \[今すぐパッチ適用\]](#) をクリックすると、脆弱性にパッチを適用するプロセスを開始できます。

## 集計されたジョブの進行状況の表示

[複数のジョブの集計されたジョブの進行状況](#)を 1 か所で表示できます。集計されたジョブの進行状況のインサイトの助けを借りて、単一または複数のジョブの一部であるパッチが資産にインストールされたか失敗したかを識別できます。

## 関連情報

タグを使用したアセットへのアクセス権の付与

注: 「[パッチ管理のユーザーの役割と権限](#)」トピックの「[タグを使用してアセットへのアクセスを許可する方法](#)」セクションを参照してください。

管理タグは、1 つ以上の資産に割り当てられたタグです。タグスコープは、ジョブの作成時、またはユーザーがパッチ管理の [アセット] タブに移動したときに表示できるアセットを定義します。

アセットにタグを割り当てると、同じタグをユーザーのスコープに割り当てることで、そのアセットへのアクセス権をユーザーに付与できます。

### Qualys パッチ管理のベストプラクティス

ベストプラクティスは、資産へのパッチの効果的な展開を容易にします。効果的なパッチ配布とは、より少ない再起動回数で最適なパッチジョブを実行し、エンドユーザーの日常業務の支障を回避することで、脆弱性から資産を修復することを意味します。

## 無料版へのフォールバック

パッチ管理は、試用版または製品版のサブスクリプションの有効期限が切れると、無料版に戻ります。24 時間未満の既存のスキャン間隔は、24 時間の間隔に変換されます。既存のジョブは無効になり、サブスクリプションを更新すると再度有効にすることができます。

無料版では、最小スキャン間隔が 24 時間の評価プロファイルを作成し、環境内のアセットに不足しているパッチとインストールされているパッチのリストを確認できます。デプロイ/ロールバック ジョブの作成は許可されません。

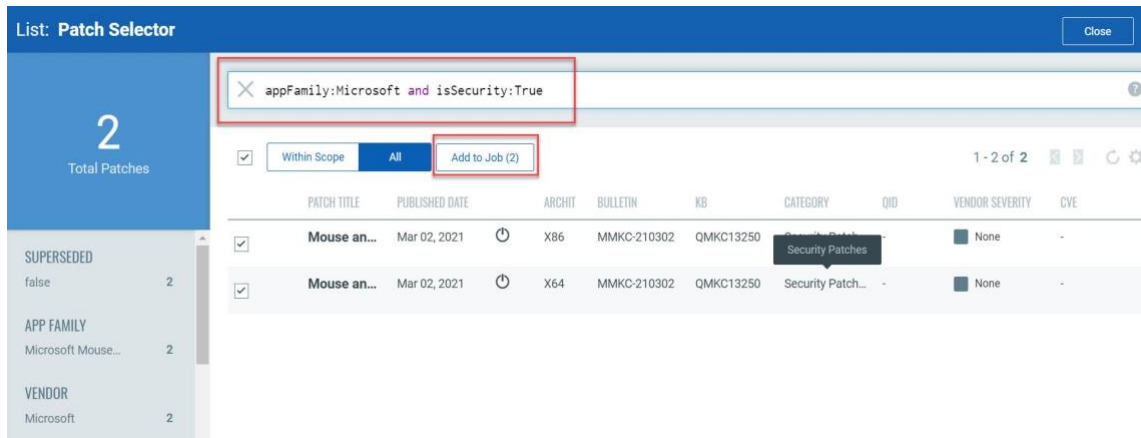
# ユーザーシナリオ

## ユーザー シナリオ: Microsoft のセキュリティ パッチ ジョブの展開

Microsoft は、重要なセキュリティパッチを定期的にリリースしています。これらのパッチのジョブ配布を自動化するには、毎月第 2 火曜日に実行するジョブを作成します。

パッチのインストールを自動化するには、次のパラメータを使用して毎月の定期的な配布ジョブを作成します。

1. [Jobs] > [Windows > [Create Job] に移動し、[Deployment Job] をクリックします。
2. [役職のタイトル]項目に「**Microsoft Security Patches**」と入力し、「次へ」をクリックします。
3. パッチを適用するアセットまたはアセットタグを選択します。
4. 必要に応じて、[除外アセットタグの追加(Add Exclusion Asset Tags)] を選択して、選択したアセットタグのすべて/いずれかを持つアセットをデプロイ ジョブから除外します。
5. アセットに適用するパッチを選択するには、「Manual Patch Select Patche」 オプションを選択し、「Select Patches」 のプラスボタンをクリックしてパッチを選択します。
6. [Patch Selector] ページの検索クエリに「**appfamily:Microsoft and isSecurity:True**」 と入力し、検索結果からパッチを選択します。



注: 1つのジョブに最大 2000 個のパッチを追加できます。

7. 「Add to Job (ジョブに追加)」 をクリックし、「閉じる」 をクリックします。
8. 「パッチの選択」 ページで、「次へ」 をクリックします。

- 「デプロイメントのスケジュール」 ページで、「スケジュール」 をクリックします。
- 開始日時を選択し、**Recurring Job**(定期的なジョブ)を選択します。
- [Repeat] を [毎月] に設定し、**Patch Tuesday**(曜日と月の第 2 火曜日の午後 9:00) を選択します。

### Schedule Deployment

Schedule the deployment job to run on demand or in the future.

On Demand Schedule **Schedule:** Schedule the deployment job to run at a set time.

START DATE: 04/22/2021 START TIME: 8:41 pm  Recurring Job

REPEATS \*  
Monthly

ON \*  
 date of the month  day of the week

RECURRENT DAY \*  
2nd WEEKDAY \*  
Tuesday of the month at START TIME  
9:00 pm

- (オプション) 指定したパッチ期間内(例:開始時刻 + 6 時間)内にエージェントがジョブを開始するように制限する場合は、[パッチ適用]ウィンドウを設定します。ジョブは、このウィンドウ内に開始されない場合、タイムアウトになります。
- 設定に基づいて、パッチ配布についてユーザーに通知する方法を構成します。配布前のメッセージを構成し、パッチ配布を特定の回数延期します。

← Create: Deployment Job

STEPS 5/7

- 1 Basic Information
- 2 Select Assets
- 3 Select Patches
- 4 Schedule
- 5 Options
- 6 Job Access
- 7 Confirmation

### Deployment and Reboot Communication Options

Define user (recipient) patch deployment communication and reboot warning messages to encourage and educate user about patch installment and the reboot cycle.

#### Deployment messages

**Pre-Deployment**  OFF  
Display message to users before patch deployment starts.  
(If no user is logged in, deployment process starts per job schedule)

**Deployment in Progress**  OFF  
Display message to users while patch Deployment is in progress.

**Deployment Complete**  OFF  
Display message to users when patch Deployment is complete.  
(If reboot is required, Reboot Request message will be displayed instead)

14. これらのオプションには、メッセージと説明の両方のフィールドに入力することをお勧めします。

Deployment and Reboot Communication Options

Define user (recipient) patch deployment communication and reboot warning messages to encourage and educate the user about patch installation and the reboot cycle.

**Deployment messages**

**Pre-Deployment**  OFF  
 Display message to users before patch deployment starts.  
 (If no user is logged in, deployment process starts per job schedule)

**Deployment in Progress**  OFF  
 Display message to users while patch Deployment is in progress.

**Deployment Complete**  OFF  
 Display message to users when patch Deployment is complete.

---

**Pre-Deployment**  OFF  
 Display message to users before patch deployment starts.  
 (If no user is logged in, deployment process starts per job schedule)

**Deployment in Progress**  OFF  
 Display message to users while patch Deployment is in progress.

**Deployment Complete**  OFF  
 Display message to users when patch Deployment is complete.

**Reboot messages**

**Suppress Reboot**  OFF  
 Asset reboot is suppressed and users are not prompted for reboot post patch installation.

**Reboot Request**  OFF  
 Show a message to users indicating that a reboot is required.  
 (If no user is logged in, the reboot will start immediately after patch deployment)

**Reboot Countdown**  ON  
 Show countdown message to users after deferral limit is reached.

TITLE \*

Reboot countdown started

MESSAGE

The system reboot is initiated. It will reboot automatically after the timer countdown.

413 characters remaining

START COUNT-DOWN FROM \*

15. 最後に、他のユーザーに割り当てられたアクセス許可に基づいて、[このジョブを編集できる共同作成者]を選択します。

← Create: Deployment Job

STEPS 6/7

- 1 Basic Information
- 2 Select Assets
- 3 Select Patches
- 4 Schedule
- 5 Options
- 6 Job Access
- 7 Confirmation

**Job Access**

Select the Co-Author users who can edit this job.

Add these users (1) as Co-Authors to this job

FIRST NAME	LAST NAME	USERNAME	EMAIL	Remove All
Bruce	Wayne	gtham_bw		<input type="button" value="✕"/>

16. 次に、構成を確認します。

ジョブは、[Save & Enable] オプションを使用して **ENABLED** 状態で作成するか、デフォルトの [Save] ボタンを使用して **DISABLED** 状態で作成できます。

注: Patch Manager ユーザーは、ジョブのステータス (有効化/無効化) の変更、ジョブの削除、および編集を行うことができます。

## ユーザー・シナリオ: RHEL アセットのセキュリティー・パッチのデプロイ

RedHat は、セキュリティーパッチを頻繁にリリースしています。パッチのインストールを自動化するには、次のパラメータを使用して配布ジョブを作成します。

1. [Jobs] > Linux タブに移動し > [Create Job] に移動します。
2. ジョブのタイトルに **RHEL Security Patches** と入力し、「次へ」をクリックします。
3. パッチを適用するアセットまたはアセットタグを選択します。

- 必要に応じて、[除外アセット タグの追加(Add Exclusion Asset Tags)] を選択して、選択したアセット タグのすべて/いずれか を持つアセットをデプロイ ジョブから除外します。
- アセットに適用するパッチを選択するには、「パッチの選択」 オプションを選択し、「パッチ・セレクトアへのリンクを作成」 をクリックして パッチを選択します。
- 「パッチ・セレクトア」 ページの検索問合せに「**category: security**」 と入力し、パッチを選択します。

List: Patch Selector

2.75K Total Patches

OS

- RHEL6 1.53K
- RHEL7 1.22K

VENDOR SEVERITY

- Important 1.17K
- Moderate 909

category:Security

1 - 50 of 2750

PATCH TITLE	PUBLISHED DATE	ARCHIT	ADVISORY ID	CATEGORY	QID	VENDOR SEVERITY	CVE
RHSA-2021:1071: ...	Apr 08, 2021	x86_64,...	RHSA-2021:1071	Security	239208	Important	CVE-2021-27363
RHSA-2021:1135: ...	Apr 08, 2021	x86_64,...	RHSA-2021:1135	Security	239207	Important	CVE-2020-25097
RHSA-2021:1145: ...	Apr 08, 2021	x86_64,...	RHSA-2021:1145	Security	239207	Important	CVE-2021-20305
RHSA-2021:1072: I...	Apr 06, 2021	x86_64,...	RHSA-2021:1072	Security	239207	Important	CVE-2021-20277

- 注:** 1つのジョブに最大 2000 個のパッチを追加できます。
- 「ジョブに追加」 をクリックし、「閉じる」 をクリックします。
- 「パッチの選択」 ページで、「次へ」 をクリックします。

## Select Patches

From the available list of patches, choose patches you want to install on the selected assets in this job.

Selected Patches (2) Add Patches

PATCH TITLE	ARCHIT	ADVISORY ID	PACKAGES	Remove All
RHSA-2021:1071: kernel security and bug fix update	x86_64,noarc...	RHSA-2021:1071	19	⊗
RHSA-2021:1135: squid security update	x86_64,noarc...	RHSA-2021:1135	7	⊗

- 「デプロイメントのスケジュール」 ページで、「スケジュール」 をクリックします。



11. 開始日時を選択し、定期的なジョブを選択します。
12. [繰り返し]を[毎月]に設定し、曜日と月の第1月曜日の午後9:00を選択します。

**Schedule Deployment**  
Schedule the deployment job to run on demand or in the future.

**Schedule:** Schedule the deployment job to run at a set time.

START DATE: 04/22/2021 START TIME: 8:41 pm  Recurring Job

REPEATS \*  
Monthly

ON \*  
 date of the month  day of the week

RECURRENT DAY \* WEEKDAY \* START TIME  
2nd Tuesday of the month at 9:00 pm

13. (オプション) 指定したパッチ期間内(例:開始時刻 +6 時間)内にエージェントがジョブを完了するように制限する場合は、パッチ適用ウィンドウを設定します。この期間内に完了しない場合、ジョブはタイムアウトになります。
14. 設定に基づいて、再起動通信オプションを構成します。[パッチのパッケージ障害が発生した後もパッチ適用を続行する]オプションを有効にして、パッチ内のパッケージの1つがインストールに失敗した場合に、他のパッケージが正常にインストールされるようにします。

**Reboot Communication Options**  
Define user (recipient) patch deployment communication and reboot warning messages to encourage and educate the user about patch installation and the reboot cycle.

**Reboot messages**  
**Suppress Reboot**  **EXP**  
Asset reboot is suppressed and users are not prompted for reboot post patch installation.

**Notification Settings**  
Configure notification to be sent to the recipients.

**The distribution list is not supported. Press Enter or Tab key after adding email ids.**

Recipient's Email Address  
Enter email  
50 more recipients can be added

- 最後に、他のユーザーに割り当てられたアクセス許可に基づいて、[このジョブを編集できる共同作成者] を選択します。

← Create: **Deployment Job** ?

STEPS 6/7

- 1 Basic Information
- 2 Select Assets
- 3 Select Patches
- 4 Schedule
- 5 Options
- 6 **Job Access**
- 7 Confirmation

### Job Access

Select the Co-Author users who can edit this job.

Add these users (1) as Co-Authors to this job

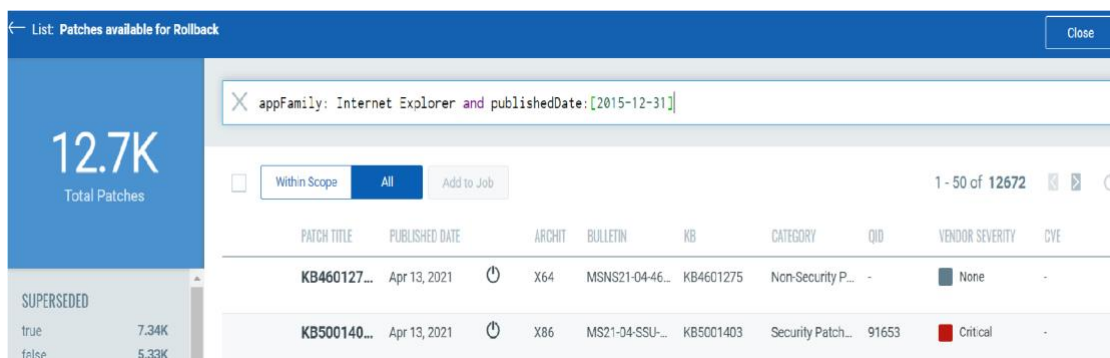
FIRST NAME	LAST NAME	USERNAME	EMAIL	Remove All
Bruce	Wayne	gtham_bw		<input type="button" value="X"/>

- 次に、構成を確認します。
- ジョブは、[Save & Enable] オプションを使用して **ENABLED** 状態で作成するか、デフォルトの [Save] ボタンを使用して **DISABLED** 状態で作成できます。
- 注:** Patch Manager スーパーユーザーは、ジョブのステータス (有効化/無効化) の変更、削除、および編集を行うことができます。

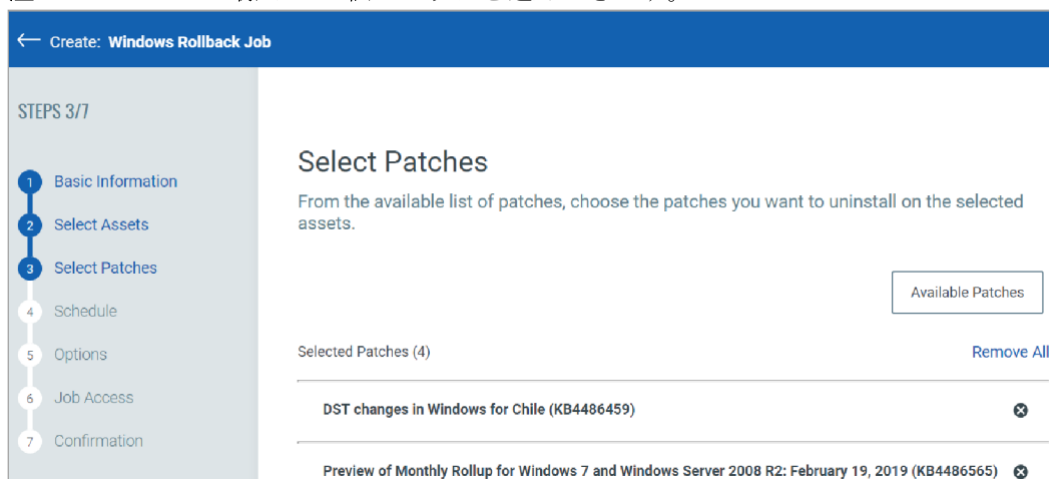
## ユーザー シナリオ: 古いバージョンの Internet Explorer ブラウザーのロールバック

古いバージョンの Web ブラウザを使用すると、セキュリティ上の問題が発生する可能性があります。2016 年より前にリリースされた可能性のある古いバージョンの Internet Explorer ブラウザーをロールバックできます。

- [Jobs] > [Windows] > [Create Job] に移動し、[Rollback Job] をクリックします。
- Job タイトルを指定し、パッチをロールバックするアセットまたはアセットタグを選択します。
- アセットからロールバックするパッチを選択します。パッチセレクタのリンクを使用して、パッチを選択します。
- [ロールバックに使用可能なパッチ] ページの検索クエリに「appfamily: Internet Explorer and publishedDate: [2015-12-31]」と入力します。



5. **注:** 1つのジョブに最大 2000 個のパッチを追加できます。



6. 「ジョブに追加」をクリックし、「閉じる」をクリックします。
7. 「パッチの選択」ページで、「次へ」をクリックします。
8. 「デプロイメントのスケジュール」ページで、「オンデマンド」をクリックします。

### Schedule Deployment

Schedule the deployment job to run on demand or in the future.

On Demand  **Schedule** **Schedule:** Schedule the deployment job to run at a set time.

START DATE: 04/22/2021  START TIME: 8:41 pm   Recurring Job

REPEATS \*  
Monthly

ON \*  
 date of the month  day of the week

RECURRENCE DAY \*  
2nd  WEEKDAY \*  
Tuesday  of the month at 9:00 pm

9. 設定に基づいて、パッチ配布についてユーザーに通知する方法を構成します。配布前のメッセージを構成し、パッチ配布を特定の回数延期します。

← Create: Windows Rollback Job

STEPS 5/7

- 1 Basic Information
- 2 Select Assets
- 3 Select Patches
- 4 Schedule
- 5 Options
- 6 Job Access
- 7 Confirmation

### Patch Rollback and Reboot Communication Options

Define user (recipient) patch rollback communication and reboot warning messages to encourage and the reboot cycle.

#### Patch Rollback messages

**Pre-Rollback**  
Display message to users before patch rollback starts.  
(If no user is logged in, rollback process starts per job schedule)

**Rollback in Progress**  
Display message to users while patch Rollback is in progress.

**Rollback Complete**  
Display message to users when patch Rollback is complete.

10. 最後に、ユーザーにプロンプトを表示するか、パッチのインストール後にアセットの再起動が必要な場合に再起動を抑制することを選択できます。

← Create: Windows Rollback Job

STEPS 5/7

- 1 Basic Information
- 2 Select Assets
- 3 Select Patches
- 4 Schedule
- 5 Options
- 6 Job Access
- 7 Confirmation

### Reboot messages

**Suppress Reboot**  OFF  
Asset reboot is suppressed and users are not prompted for reboot post patch rollback.

**Reboot Request**  OFF  
Show a message to users indicating that a reboot is required.  
(If no user is logged in, the reboot will start immediately after patch rollback)

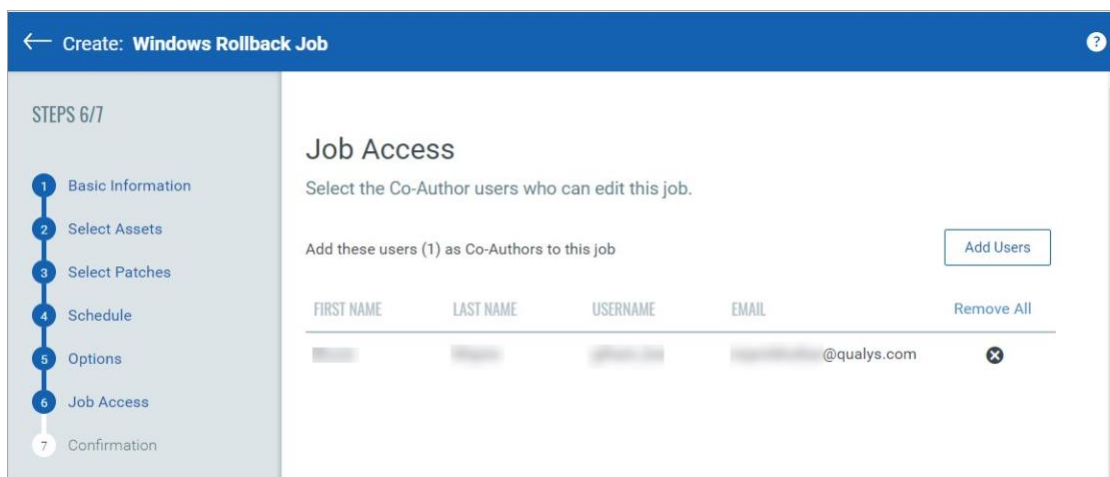
**Reboot Countdown**  ON  
Show countdown message to users after deferment limit is reached.

**TITLE \***  
Reboot countdown started

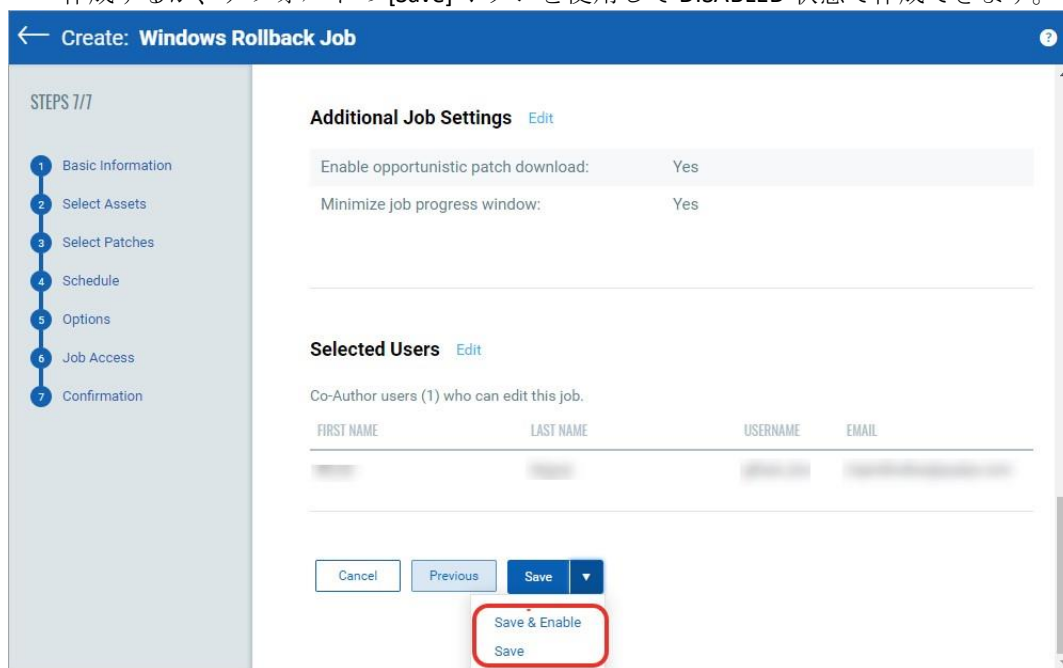
**MESSAGE**  
The system reboot is initiated. It will reboot automatically after the timer countdown.  
413/500 characters remain

**START COUNT-DOWN FROM \***  
15 Minutes

11. 最後に、他のユーザーに割り当てられたアクセス許可に基づいて、[このジョブを編集できる共同作成者]を選択します。



12. 次に、構成を確認します。ジョブは、[Save & Enable] オプションを使用して ENABLED 状態で作成するか、デフォルトの [Save] ボタンを使用して DISABLED 状態で作成できます。



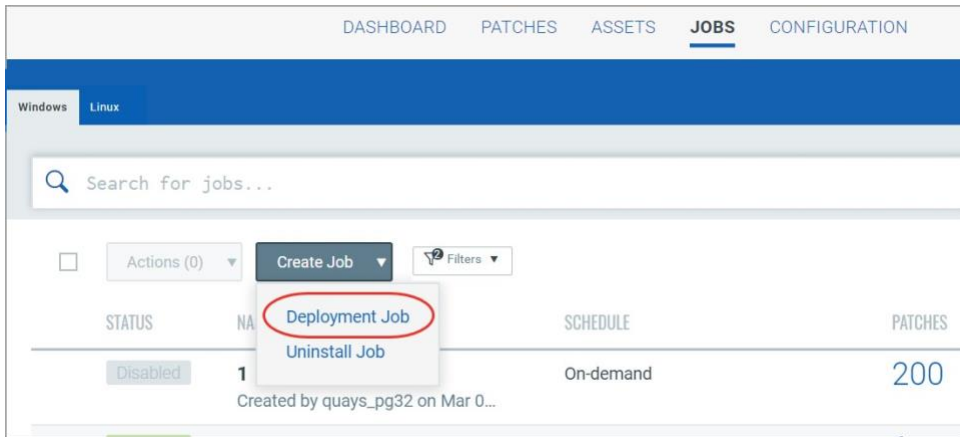
無効にしたジョブを実行するには、そのジョブを有効にする必要があります。無効化されたジョブを有効にするには、「ジョブ」タブに移動し、ジョブの「クイック・アクション」メニューから「有効化」をクリックします。「Save & Enable」オプションは、ジョブを「保存」とすぐに実行を開始するため、ジョブが正しく構成されていると確信できる場合にのみ選択してください。

Patch Manager ユーザーは、ジョブのステータス (有効化/無効化) の変更、削除、および編集を行うことができます。

## ユーザー シナリオ: Chrome および Internet Explorer の重要なパッチのインストール

ブラウザが重要な更新を確実に受信できるようにするために、毎日の定期的なジョブを作成して、重要なパッチが確実に配布されるようにすることができます。

1. [Jobs] > [Windows] > [Create Job] に移動し、[Deployment Job] をクリックします。



2. ジョブのタイトルに「**Browser Security Patches**」と入力し、「次へ」をクリックします。
3. パッチを適用するアセットまたはアセットタグを選択します。
4. (オプション) [除外アセット タグの追加(Add Exclusion Asset Tags)] を選択して、選択したアセットタグのすべて/いずれかを持つアセットをデプロイ ジョブから除外します。
5. アセットに適用するパッチを選択するには、[Create a Query for Patches] (パッチのクエリの作成) を選択します。「appFamily:Chrome」または「appFamily:"Internet Explorer"」と入力します。

### Select Patches

Choose the patches you want to install for the selected assets or create a query for the job.

Select Patches  Create a Query for Patches

Note: For optimum performance, only missing and non-superseded patches that match the QQL criteria will be added to the job.

6. 次のジョブ・スケジュールを作成します。

## Schedule Deployment

Schedule the deployment job to run on demand or in the future.

**On Demand** **Schedule** **Schedule:** Schedule the deployment job to run at a set time.

START DATE: 04/22/2021  
START TIME: 9:00 pm  
 Recurring Job

REPEATS \*: Daily  
START TIME: 9:00 pm

- (オプション) 指定したパッチ期間内(例:開始時刻 +6 時間)内にエージェントがジョブを開始するように制限する場合は、[パッチ適用]ウィンドウを設定します。ジョブは、このウィンドウ内に開始されない場合、タイムアウトになります。
- 設定に基づいて、パッチ配布についてユーザーに通知する方法を構成します。配布前のメッセージを構成し、パッチ配布を特定の回数延期します。

Deployment and Reboot Communication Options

Define user (recipient) patch deployment communication and reboot warning messages to encourage and educate the user about patch installation and the reboot type.

**Deployment messages**

**Pre-Deployment**  **On**  
Display message to users before patch deployment starts.  
(If no user is logged in, deployment process starts per job schedule)

**Deployment in Progress**  **On**  
Display message to users while patch Deployment is in progress.

**Deployment Complete**  **On**  
Display message to users when patch Deployment is complete.

**Pre-Deployment**  **On**  
Display message to users before patch deployment starts.  
(If no user is logged in, deployment process starts per job schedule)

**Deployment in Progress**  **On**  
Display message to users while patch Deployment is in progress.

**Deployment Complete**  **On**  
Display message to users when patch Deployment is complete.

**Reboot messages**

**Suppress Reboot**  **On**  
Reboot is suppressed and users are not prompted for reboot post patch installation.

**Reboot Request**  **On**  
Show a message to users indicating that a reboot is required.  
(If no user is logged in, the reboot will start immediately after patch deployment)

**Reboot Countdown**  **On**  
Show countdown message to users after deployment finish is reached.

**TITLE:**  
Reboot countdown started

**MESSAGE:**  
The system reboot is initiated. It will reboot automatically after the timer countdown.  
613 characters remaining

**START COUNT/DOWN TIME:**  
15 Minutes

**Notification Settings**  
Configure notification to be sent to the recipients.  
 The distribution list is not supported. Press Enter or Tab key after adding email list.  
Recipient Email Address:  
Enter email  
50 more recipients can be added

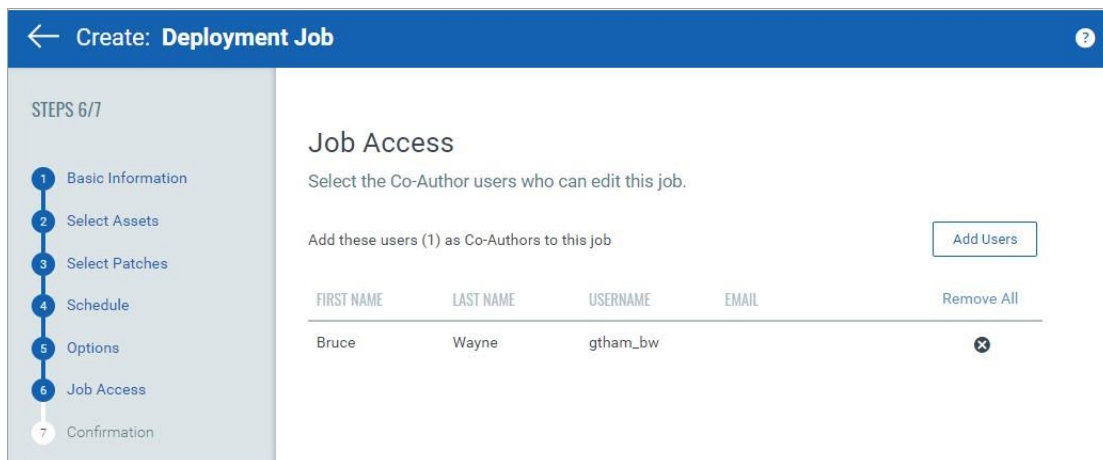
**Additional Job Settings**

**Enable opportunistic patch download**  **Off**  
The system automatically downloads patches before a scheduled job runs.

**Minimize job progress window**  **Off**  
Allow end users to minimize message windows.

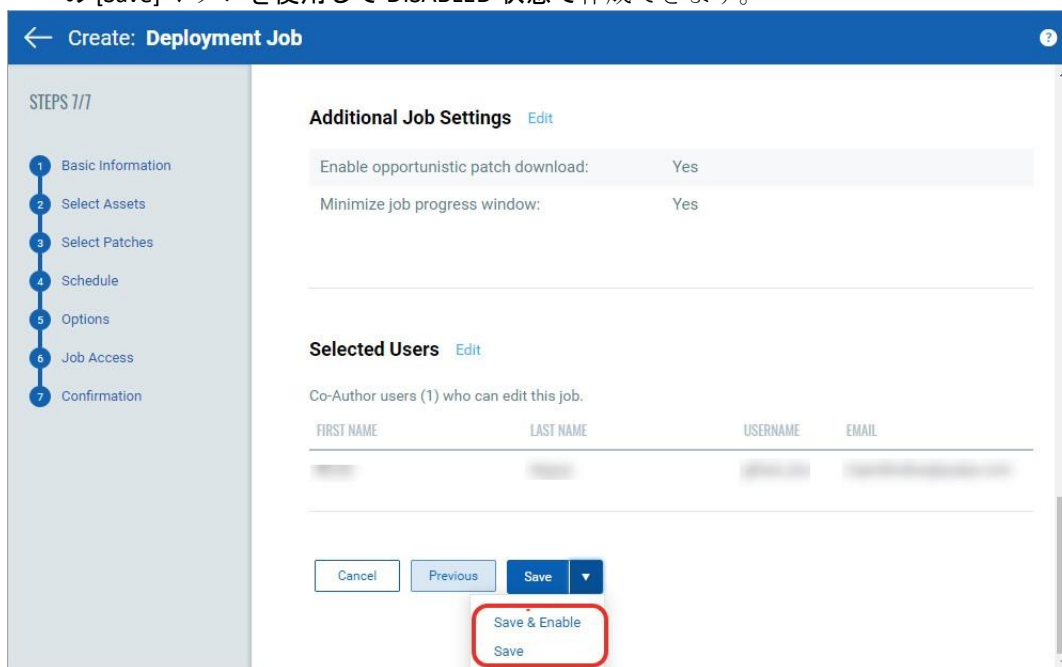
Cancel Previous Next

- 最後に、他のユーザーに割り当てられたアクセス許可に基づいて、[このジョブを編集できる共同作成者]を選択します。



10. 次に、構成を確認します。

11. ジョブは、[Save & Enable] オプションを使用して ENABLED 状態で作成するか、デフォルトの [Save] ボタンを使用して DISABLED 状態で作成できます。



**注:** Patch Manager スーパーユーザーは、ジョブのステータス (有効化/無効化) の変更、削除、および編集を行うことができます。